

## 令和5年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会 事業報告

令和5年度は、新型コロナ感染症が5類感染症に移行して、感染防止対策が緩和されたことで、徐々にコロナ禍以前の平穏な生活に戻りつつあります。しかし、県内でも線状降水帯発生による水害と元日に発生した能登半島地震による2つの大きな自然災害がありました。水害では市内で尊い命が失われましたが、地震では人的被害は無く幸いでした。

また、世界情勢においては、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、イスラエルのガザ侵攻の激化などが、世界の経済に大きな影響を与え、日本の経済悪化の長期化に拍車をかけています。

本年度は第4次地域福祉活動計画（5か年計画）のスタートの年でした。31の地域づくり協議会においても地区の福祉活動計画を策定していることから、各地区を訪問して取り組みの進捗をお聞きし、地区の特色ある活動や推進上の課題などを把握することができました。それらを地区福祉活動連絡会にて共有したことで、今後の地区活動のヒントにつながりました。

また、第4次計画で社協の重点取り組みとしている災害時の視点でつくる支え合いマップづくりは、関係各所で周知することから始めました。モデル的に実践した地区は1地区に留まりましたが、能登半島地震後は関心を寄せる地区が増えています。今後も防災や避難行動支援に関する行政担当課と連携しながら、より実効的なものとなるよう進めていきます。

災害に関し、令和4年度に行った災害ボランティアセンター運営マニュアルの刷新を機に、災害時連携協定を結んだ団体の参加を得て同センターの運営訓練を再開しました。また、水害による高岡市と能登半島地震による氷見市の災害ボランティアセンターへ当会職員を派遣しました。今後は能登半島への長期的な派遣要請もあると思われませんが、今後の運営訓練では派遣での経験を活かしていきます。

新規の車いす移送車貸出事業は、日常生活の利便性と社会参加の促進を図ることを目的に、車いすのまま乗れる車両を貸し出し、通院や友人とのお出かけなどに活用いただきました。

福祉センター等運営部門では、利用者の皆様よりご理解をいただき、10月から福野老人福祉センター入浴日の変更と福光老人福祉センター料金値上げを実施しました。また、井口社会福祉センターでは、小学生の放課後クラブの活動場所の変更により利用者数が大幅に減少しましたが、一般の利用者の増減については前年度と比較して大きな変化はありませんでした。しかしながら、福祉センターの利用者は年々減少しており、高齢化、人口減少の影響も大きいとは思われますが、次年度以降も利用促進に向けて周知に努めてまいります。

介護保険等サービス部門では、市との指定管理協定を締結している平、上平、利賀デイサービスセンター及び五箇山ホームヘルプステーションの7年間の協定期間の最終年度を迎えました。また、次年度から継続する指定管理運営に備え、介護報酬改定により令和6年4月より義務化される高齢者虐待防止の推進及び感染対策の強化に対応するため、感染症対策及び虐待防止指針の整備、委員会の設置、研修会を開催しています。

なお、介護利用者数については、地域の人口減少に比例して推移していますが、人口減少に伴って、施設の運営を支える職員の確保にも影響が出ることを懸念しています。

今後も経済の悪化による円安等の影響等で光熱費の高騰が続き、施設全般の経常経費に重く押し掛かることが予想されます。また、施設で働く職員の賃金見直し等の処遇改善も進めており、これからも当会を取り巻く状況に柔軟に対応し、住民や会員の皆様のご理解を頂きながら当会の運営を進めていきたいと考えております。

令和5年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会 主要事業等報告

月	日	曜日	主管	事業名	開催場所	出席人数
5	22	月	市社協	決算監査(令和4年度分)	井波社会福祉センター	3
	23	火	市共募	市共同募金委員会監査	井波社会福祉センター	2
	29	月	市共募	市共同募金委員会①	井波社会福祉センター	12
6	5	月	市社協	ボランティアセンター運営委員会①	井波社会福祉センター	10
	6	火	市社協	理事会①	井波社会福祉センター	11
	13	火	市社協	評議員選任・解任委員会①	井波社会福祉センター	3
	19	月	市社協	心配ごと相談員研修会	井波社会福祉センター	18
	27	火	市社協	定時評議員会(評議員会①)	井波社会福祉センター	27
	29	木	市社協	理事会②	井波社会福祉センター	13
	29	木	市社協	3市福祉教育ボランティア学習会	井波社会福祉センター	18
7	23	日	市	社会を明るくする運動・パレード	福光市街地	2
	28	金	市社協	定期監査①(4~6月)	施設(上平)	3
8	30	水	市社協	ドリンクサービスマナーアップ講座	花椿かがやき	17
9	1	金	県社協	社会福祉法人監事研修	サンシップとやま	3
	4	月	市社協	ドリンクサービスマナーアップ講座	旅川福祉交流館	13
	7	木	市社協	聞き上手さん講座	地域包括ケアセンター	68
	20	水	市共募	市共同募金委員会②	井波社会福祉センター	11
	20	水	県社協	ケアネットチーム員・リーダー研修会	サンシップとやま	22
	22	金	市社協	南砺市生活支援員登録者研修会	井波社会福祉センター	22
	25	月	市社協	利賀デイサービスセンター運営推進会議①	利賀デイサービスセンター	6
	26	火	市社協	表彰選考委員会	井波社会福祉センター	8
10	1	日	市共募	共同募金運動(10/1~12/31)	市内	-
	3	火	県社協	福祉サービス苦情解決研修会	パレブラン高志会館	3
	5	木	市社協	上平デイサービスセンター運営推進会議①	上平デイサービスセンター	9
	11	水	市社協	平デイサービスセンター運営推進会議①	平デイサービスセンター	8
	16	月	県社協	富山県社会福祉大会	県民会館	19
	19	木	市社協	南砺市災害ボランティアセンター立上げ訓練	井波社会福祉センター	52
11	7	火	8法人	南砺市社会福祉法人研修会	井波社会福祉センター	29
	15	水	市社協	定期監査②(7~9月分)	施設(福野)	3
	17	金	市社協	南砺市社会福祉大会	じょうはな座	128
	中旬~		市社協	地域づくり協議会訪問(~12月)	各地区交流センター	-
12	5	火	市社協	理事会③	井波社会福祉センター	14
	9	土	市社協	食品無料配布会	サテライト	5
	12	火	市社協	評議員会②	井波社会福祉センター	24
	14	木	砺波市社協	3市施設ボランティア受入れ担当職員研修会	チューリップ四季彩館(砺波市)	6
1	13	土	市社協	食品無料配布会	サテライト	8
	31	水	市社協	ボランティアセンター運営委員会②	井波社会福祉センター	12
	31	水	市社協	定期監査③(10~12月分)	井波社会福祉センター	3
2	4	日	未来支援C	各地区取り組み発表会	ア・ミューホール	約150
	5	月	市社協	食品無料配布会	井波社会福祉センター	6
	29	木	市社協	地区福祉活動連絡会	井波社会福祉センター	59
3	6	水	市社協	サロン研修	地域包括ケアセンター	133
	9	土	市社協	食品無料配布会	サテライト	5
	10	日	市社協	障がい者寄り添い講座	地域包括ケアセンター	63
	15	金	市社協	ケアネット活動推進連絡会	井波社会福祉センター	8
	18	月	市社協	平デイサービスセンター運営推進会議②	平デイサービスセンター	5
	19	火	市社協	理事会④	井波社会福祉センター	14
	19	火	市社協	上平デイサービスセンター運営推進会議②	上平デイサービスセンター	11
	19	火	市社協	利賀デイサービスセンター運営推進会議②	利賀デイサービスセンター	6
	21	木	市共募	市共同募金委員会③	井波社会福祉センター	10
	26	火	市社協	評議員会③	井波社会福祉センター	24

# 1 法人運営部門

## 1 法人運営事業

(1) 本所、サテライトの運営管理  
事務所の管理運営及び社協活動車両7台の維持管理。

(2) 理事会の開催  
理事12名。業務執行上の事項及び当面する課題について協議。

回	開催日	議 案
1	6月6日	1 令和4年度事業報告 2 令和4年度収支決算 3 定款の一部変更 4 表彰規程の一部改正 5 福光老人福祉センター管理規程の一部改正 6 福野老人福祉センター管理規程の一部改正 7 評議員候補者の選定 8 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の招集 9 次期役員候補者の選定 10 令和5年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集 報告：会長及び常務理事の職務執行状況（10～3月） 法令による情報開示 第4次南砺市地域福祉活動計画の策定
2	6月29日	11 会長及び副会長の選定 12 常務理事の承認 報告：評議員の選任について（評議員選任・解任委員会の結果報告） 指定管理について
3	12月5日	13 給与規程の一部改正 14 令和5年度補正予算（第1次） 15 令和5年度第2回評議員会の招集 報告：会長及び常務理事の職務執行状況（4～9月） 指定管理について 地域福祉課より
4	3月19日	16 令和5年度補正予算（第2次） 17 令和6年度事業計画（案） 18 令和6年度収支予算（案） 19 平デイサービスセンター運営規程の一部改正 20 上平デイサービスセンター運営規程の一部改正 21 上平基準該当障害福祉デイサービスセンター運営規程の一部改正 22 利賀デイサービスセンター運営規程の一部改正 23 利賀基準該当障害福祉デイサービスセンター運営規程の一部改正 24 五箇山ホームヘルプステーション運営規程の一部改正 25 五箇山ホームヘルプステーション運営規程の一部改正 （基準該当障害福祉） 26 役員等賠償責任保険契約の締結 27 令和5年度第3回評議員会の招集 協議：福光老人福祉センター「福光温泉」旧浴場屋根漏水対策 報告：指定管理について 職員募集について 第4次地域福祉活動計画 令和5年度の評価

### (3) 評議員会の開催

評議員23名。業務執行上の重要事項について審議、決定。

回	開催日	議案
定時 1	6月27日	1 令和4年度事業報告 2 令和4年度収支決算 3 定款の一部変更 4 次期役員を選任 報告：法令による情報開示 第4次南砺市地域福祉活動計画の策定
2	12月12日	5 令和5年度補正予算（第1次） 報告：指定管理について 地域福祉課より
3	3月26日	6 令和5年度補正予算（第2次） 7 令和6年度事業計画（案） 8 令和6年度収支予算（案） 報告：指定管理について 職員募集について 第4次地域福祉活動計画 令和5年度の評価について

### (4) 評議員選任・解任委員会の開催

委員3名。理事会の推薦を受けて評議員の選任について審議、決定。

回	開催日	内容
1	6月13日	評議員の選任について

### (5) 監査会の開催

監事3名。運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査を実施。

回	開催日	内容
1	5月22日	令和4年度決算監査
2	7月28日	4～6月分、固定資産・施設の現地監査（上平アイビセンター）
3	11月15日	7～9月分、固定資産・施設の現地監査（福野老人福祉センター、すば一く福野）
4	1月31日	10～12月分

### (6) 役員等研修の実施

9月1日 社会福祉法人監事研修 富山県総合福祉会館 3名参加

### (7) 社会福祉法人地域公益活動推進事業

市内の8社会福祉法人が連携して、ふくし出前講座や重層的支援体制について研修会を実施した。

### (8) 南砺市社会福祉大会の開催

式典において、長年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰した。

開催日 11月17日

会場 南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」

参加者 被表彰者30名・7団体 福祉関係者91名 計128名

### (9) 表彰選考委員会の開催

9月26日 市社協会長表彰候補者の選考

(10) 指定管理者業務に伴う事務の適正管理

五箇山ホームヘルプステーション及び平・上平・利賀デイサービスセンター、平生活支援ハウス（指定管理期間：H29. 4. 1～R6. 3. 31）の指定管理者として管理運営した。  
次期指定管理について、関係課と協議を重ねて申請事務を行った。

(11) 職員研修体制の充実

内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図った。

【内部研修】

7月27日 BCPミーティング（オンライン）

参加者 21名

内容 令和4年度作成の事業継続計画について、全職員で共有し、非常時の連絡体制や優先業務を確認した。

3月25日 介護職員全体研修

参加者 19名

内容 近年、職場のストレスや心の負担が増加していることから、職場のメンタルヘルスに対する意識が高まっており、研修によりストレスや不安、感情の変化をうまく管理し、健康的なコミュニケーションスキルを身につけることを目的として研修を行った。

【外部研修】

開催日	研修名	主催	参加者	
<総務・企画係主管>				
6月26日～27日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名	
11月1日	社会福祉法人経理事務研修	県社協・経営協	1名	
<在宅福祉係>				
5月26日	地域ケア合同研修会	南砺市	2名	
11月17日	地域密着型通所サービス連絡研修会	南砺市	3名	
2月21日	砺波地区ブロック研修会	県老施協	2名	
3月15日	地域ケア合同研修会	南砺市	3名	
<地域福祉係>				
6月2日	ボランティアコーディネーター等研修	県社協	2名	
6月10日～11日	社会福祉士実習指導者講習会	東京社士会	2名	
7月6日	生活支援コーディネーター養成研修	県厚生部	3名	
9月13日、14日	ケアネット活動コーディネーター研修	県社協	2名	
11月15日	重層的支援体制整備事業移行支援研修	県厚生部	3名	
11月21日～22日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	岐阜県社協	2名	
10月18日	地域災害対応力強化研修	県社協・福祉カレッジ	2名	
<福祉サービス係>				
9月29日	市町村社協専門員研修会	県社協	3名	
10月18日～2月29日、12月19日	専門員実践力強化研修会	オンライン	全社協	1名

(12) 実習指導者の育成、実習生の受入れ

- ・ 社会福祉士実習指導者講習会の受講 2名
- ・ 社会福祉士養成課程における相談援助実習  
実習生： ①日本こども福祉専門学校 1名  
          ②富山国際大学 1名
- 実習期間： ①4月18日～5月25日  
              ②2月13日～3月18日

(13) 災害ボランティアセンターへ職員派遣

<富山県令和5年6・7月豪雨災害>

- ・ 高岡市 (R5. 7) 2名

<令和6年能登半島地震>

- ・ 高岡市 (R6. 1) 1名
- ・ 氷見市 (R6. 2～3) 5名

(14) 苦情解決体制

本会が行う事業に係る住民や利用者等からの苦情について、解決に向けて適切に対応するための体制を整えた。

- ・ 事業所ごとに苦情解決責任者、苦情受付担当者を設置
- ・ 社会性や客観性を確保するため社協外の体制として第三者委員を3名委嘱
- ・ 苦情解決に必要な知識を学ぶため外部研修に参加

10月3日 福祉サービス苦情解決研修会 委員2名、職員1名

(15) 経営基盤の強化

住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼し、地域福祉活動の資金として活用した。また、事業及び会費への理解が得られるよう、用途を広報等で周知した。

		R3年度	R4年度	R5年度
一般会員 (市内全世帯)	件数	13,662件	13,274件	13,042件
	金額	5,477,530円	5,315,730円	5,223,545円
賛助会員 (活動に賛同する法人)	件数	221件	206件	220件
	金額	964,000円	891,000円	984,000円
特別会員 (個人)	件数	200件	192件	193件
	金額	223,000円	222,500円	224,400円

(16) 主な修繕 (10万円以上)

なし

(17) 固定資産取得支出 (10万円以上)

- ・ 本所 ネットサーバー機器 182,600円
- ハードディスク更新
- ・ 本所 無停電装置本体更新工事 244,200円
- ・ サテライト 電気給湯器取替工事 277,200円

(18) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

・本所	ロッカー	50,600 円
・サテライト	換気扇設置工事	61,600 円
・サテライト	石油ファンヒーター	41,800 円

(19) 職員5名の人件費

## 2 委員会活動事業

(1) 第4次南砺市地域福祉活動計画の送付

令和4年度末に完成した活動計画の冊子を策定委員ほか関係者に送付した。

※計画の推進及び評価は、5 地域総合福祉推進事業にて報告

## 3 基金運営事業

(1) 地域福祉振興積立金の管理

地域づくり協議会への助成や社会福祉事業の円滑かつ効果的な実施のための積立金取崩及び事業収益の積立。

- ・社会福祉事業振興基金 100,000,000円
- ・地域福祉振興積立金

R4年度末積立金額	R5年度積立て額	R5年度取崩し額	R5年度末積立金額
58,420,000 円	700,000 円	2,976,000 円	56,144,000 円

## 4 退職手当積立事業

(1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金

- ・正規職員25名の加入
- ・退職手当給付金の支給 (退職者 2名)

## 2 地域福祉推進部門

### 5 地域総合福祉推進事業

#### (1) 第4次南砺市地域福祉活動計画（1年目）の推進

##### ①地区における取り組み状況の聞き取り

生活支援コーディネーターが中心となり、地区福祉活動計画の進捗状況の確認と効果のあった活動のほか、課題とを感じる点の聞き取りを行った。

##### ②活動計画「地域での取り組み」の推進

本計画の「地域での取り組み」を推進するため、地区福祉活動連絡会において、上記の聞き取りで把握した参考になる取り組みの紹介とそれぞれの地区に応じた課題や悩みについての情報交換をした。活動者の前向きな気持ちに繋がった。

##### ③評価

市内全31地区が地区の福祉活動計画の評価シートを作成し、現状の確認ができた。地域福祉活動計画の1年目の評価を社協職員が行い、併せて2年目に向けて課題を整理し方向性をまとめた。

#### (2) 地域づくり協議会への対応

職員のチーム制で市関係課と連携しながら、担当地区からの相談に応じ活動を支援した。地域づくり協議会情報交換会（オンライン）に毎月参加した。

2月4日に行われた各地区取り組み発表会（なんと未来支援センター主催）に参加し、「災害時支え合いマップ」の紹介と社協の取り組み及び地域課題への今後の対応について説明した。

#### (3) 地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成

要支援者に対する見守り支援活動費や活動者や住民を対象とした研修会等の経費として、1地区の上限を250,000円とし、地域づくり協議会へ総額7,250,000円を助成。

《ケアネット活動実績》

	R3年度	R4年度	R5年度
ケアネットチーム数	183チーム	189チーム	187チーム
ケアネットチーム員数	789人	820人	775人
支援対象者数	1,143人	1,141人	1,191人
支援回数	46,082回	40,863回	40,265回

#### (4) ケアネットセンター運営事業

ケアネット活動を推進するため、ケアネット活動コーディネーター1名と地域担当のコミュニティーソーシャルワーカーを配置。地域づくり協議会や関係機関との連携を密にしながら、事業の普及啓発や支援を必要とする方の相談に対して、地域住民や専門職を交えたケース会議を開催し、事業の推進を図った。

##### ①ケアネット活動の普及啓発

	R3年度	R4年度	R5年度
地区や関係機関の会議での事業説明	25件	23件	27件

##### ②個別支援への対応

	R3年度	R4年度	R5年度
相談受付件数（延べ）	60件	99件	99件
訪問件数（延べ）	17件	16件	17件
ケース会議開催（参加含む）	11件	14件	6件
新規サービスプログラム数	2件	2件	4件



③ケアネット活動協力企業への登録依頼

	R3年度	R4年度	R5年度
協力企業の登録数	21件	40件	44件

(5) ケアネット活動推進連絡会の開催

開催日	3月15日
会場	井波社会福祉センター
参加者	8名
内容	1) 見守り活動（ケアネット活動）の現状と課題について 2) 重層的支援体制整備事業について 3) 意見交換
成果	地域における見守り活動の充実を図るため、見守りや訪問活動の取り組みを行っている関係機関等が集まり、情報共有等とおして連携を深めた。 また、令和6年度から実施する重層的支援体制整備事業の体制構築に向けて理解を深め、ネットワークの強化を図った。

(6) ふくし出前講座の開催

社協事業の紹介、福祉活動への協力を呼びかけるため社協職員による出前講座を実施した。地域づくり協議会やサロン団体等にパンフレットを配布し、地域へ出向く機会が増えるよう取り組んだ。

講座内容	回数	合計
ケアネット・いのちのバトン	3回	5回
災害	2回	

(7) 【新】車いす移送車貸出事業

市民から寄付を受けた車いす対応車両を貸し出し、車いすを日常的に利用される方の生活の利便性と社会参加の促進を図った。

延べ利用回数 45回 実利用者人数 10名 通院、散髪等

(8) 南砺市社会福祉大会（講演）の開催

開催日	11月17日
会場	南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」
参加者	128名
内容	講演「近年における災害と災害ボランティアセンターの実態」 講師 合同会社HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏
成果	近年の災害の現状を知り、平時からの必要な取り組みについて考える機会となった。また、災害時における地域組織の機能の一つとして、被災者の困りごとを災害ボランティアセンターへつなぐ役割についても触れ、地域や関係団体との日頃からのネットワークやパートナーシップづくりの必要性について理解を深めた。

(9) 地域の取り組みや市社協事業の情報発信

広報紙「なんとの福祉」隔月発行、ホームページ及びSNS（ブログ・Instagram）を更新し、地域の取り組みや事業の紹介を行い広く福祉事業について周知した。

(10) 職員4名の人件費（ケアネット活動コーディネーター1名含む）

## 6 地域福祉ネットワーク事業

【市受託事業】

### (1) 支え合いマップづくり

支え合いマップづくりを通して、要支援者や地域課題を把握するため、4地区にて実施。

	開催日	開催	会場	参加者	実施集落
①	6月4日	福野東部地区	福野東部 交流センター	40名	全集落
②	7月23日	福野南部地区	福野南部 交流センター	40名	全集落
③	9月29日	西太美地区	西太美 交流センター	20名	才川七2区、香城寺 ※次年度に向け部会員で実施
④	10月8日	安居地区	安居 交流センター	20名	全集落
内容	住宅地図を活用して、地域の生活課題や社会資源等を掘り起こし、住民同士の支え合いによる解決方法について話し合った。また、今後地区ごとにマップの更新を実践できるよう、手法や手順を参加者と共有した。				
成果	地域住民が主体となって、ご近所での支え合いやケアネット活動の方法を検討する場となった。				

### (2) 【新】災害時支え合いマップづくり

災害時に住民同士の声掛けにより避難できるよう、避難行動要支援者名簿を活用した地域での支援体制づくりを進めた。今年度はモデル実施。

	R3年度	R4年度	R5年度
実施地区数	-	-	1地区
地区等での事業周知	-	-	9件

### (3) 食品無料配布会

- ・食品を寄付されたフードドライブ実施団体 7団体
- ・食品無料配布会の実施 12月～3月 月1回 計4回の実施

### (4) いのちのバトン事業

広報「なんとの福祉」に事業の紹介記事を掲載し、更新用の医療情報用紙を配布するとともに、サロン等におけるふくし出前講座にて、いのちのバトンの設置や医療情報用紙の更新を呼びかけた。また、要支援者に関わる専門職の会議等において、事業推進の必要性について説明し、理解促進を図った。

### (5) 職員1名の人件費

## 7 総合相談所運営事業

【市受託事業】

### (1) ふくし総合相談センターの設置

市民の相談を総合的に受ける窓口を本所、サテライトに設置し、職員が随時相談に応じた。相談者に寄り添いながら関わりを継続したり、必要に応じて専門機関へつなぐなど、相談内容の解決に向けて対応した。

- ・相談カレンダーの全戸配布 年2回
- ・新規相談受付 108件 (R4年度 224件)

相談内容	ケア ネット	ボラン ティア	居場所	生活 困窮	生活福 祉資金	日常生活 自立支援	高齢 相談	一般相談	計
	14件	10件	2件	6件	27件	7件	6件	36件	108件

(2) 心配ごと相談・法律相談・相続相談・休日相談の開催

①心配ごと相談

どこに相談して良いか分からないような日常生活の困りごとについて、心配ごと相談員が親身に相談を受け、必要に応じ適切な専門機関へつないだ。

会場名	開設日数	相談者数 (延べ)	相談内容内訳																				
			生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	児童福祉	教育・青少年	障がい者福祉	母子父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	
城端	6日	4名	3件	0件	0件	1件	4件	0件	0件	0件	0件	3件	8件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件	6件	
井波	12日	11名																					
福野	6日	0名																					
福光	12日	5名																					
計	36日	20名																					
											計												27件

②法律相談

相続や家族関係、金銭問題、賠償問題など法律に関する相談に応じた。

- ・開催回数 月1回（年12回）
- ・相談件数 66件
- ・相談員 富山県弁護士会 弁護士

③相続相談

複雑、多様化する相続問題に対し、市民が問題解決に向けて相談できるよう司法書士による相続相談を実施した。

- ・開催回数 年3回（6月、8月、10月実施）
- ・相談件数 4件
- ・相談員 富山県司法書士会 司法書士

④休日相談

平日の相談が難しい方に対し、悩みや困りごとの相談が受けられるよう休日相談を実施した。

- ・開催回数 年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月実施）
- ・相談件数 3件
- ・相談員 社協職員

(3) 心配ごと相談員研修の開催

開催日	6月19日
場所	南砺市井波社会福祉センター 3階 大ホール
参加者	18名
内容	講義・ワークショップ 「今こそ、地域の置き薬としての聴き役が効く！ ～まずは傾聴から～」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏
成果	相談時にはまずは傾聴をしっかりと行い、専門的な悩みごとや課題があれば社協や行政につなげるよう講師より助言があり、連携を図りながら支援を進める大切さを学ぶ機会になった。

## 8 障害者社会参加事業

【市受託事業】

### (1) 障害者理解促進研修・啓発事業

地域共生社会の実現に向けて、障がいの有無に関わらずその人らしさを認め合うために、事例や寸劇から障がい者の基本的な特性を理解し、その人の背景に寄り添うことの意義について地域住民とともに学びを深めた。

開催日	3月10日
会場	南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室
参加者	63人
内容	1) ひとり芝居「パンダのパン屋」 Smiley Tomorrow 河除 静香 氏 2) 演題 よりそい弁護士と寄り添い型支援 講師 辻川法律事務所(大阪府) 弁護士 辻川 圭乃 氏
成果	地域住民のほか、司法や教育など多方面からの参加があり、障がい特性の理解と福祉意識の向上を図った。

### (2) ドリンクサービス事業

#### ① ドリンクサービス

地域のサロンや関係団体の会議において、市内の障がい者施設利用者と協力してコーヒー等のドリンクを提供し、障がい者の社会参加の促進を図るとともに、地域住民への障がい者理解を深めた。

- ・開催回数 13回
- ・協力者数(延べ) 51名

#### ② ドリンクサービス マナーアップ講座

サービス時のマナーの振り返り・向上を目指し、今後の活動の励みとなるよう開催した。

開催日	8月30日	9月4日
会場	多機能型事業所花椿かがやき	旅川福祉交流館
参加者	4施設30名(当事者24名、職員6名)	
内容	紅茶の話、いれ方、ドリンク提供時のマナーの振り返りについて 講師 ごしょカフェ 鍋澤 充孝 氏 飲み物を提供する際の基本的なマナーを復習するとともに、今回は、「紅茶のいれ方」を学び、より充実した内容でサービスを展開できるようにすることを目的に開催。また、事業所間の交流・情報交換の機会とした。	
成果	新たに紅茶のいれ方を学ぶことで、コーヒーが苦手な方にもサービスを楽しんでもらえるきっかけとなった。また、コロナ禍で事業所間の交流の機会が制限されている中、貴重な情報交換の場を提供することができた。 なお、今年度参加者の拡大と利便性を図るべく2回(会場)で実施。前年度より参加者が10名増となった。	

## 9 福祉入門事業

【市受託事業】

### (1) 手話奉仕員養成講習会 [入門編]

※南砺市井波総合文化センター(代表企業(株)ホクタテ高岡支社)へ業務委託

開催日	5月19日～11月24日(毎週金曜日 全24回)
会場	井波総合文化センター
参加者	20名
内容	入門編と基礎編を隔年で実施しており、本年度は入門編を実施した。 修了者 19名
成果	手話によるコミュニケーションを学ぶことを通して、聴覚障がい者への理解を深め、日常生活での活用を促す機会となった。

## 10 地区社協助成事業

### (1) 【改】地区福祉活動助成

社協会費と地域福祉振興積立金を活用し、福祉課題の解決に向けて取り組む事業と、継続的に取り組むことを必要とする福祉事業に対して、31地域づくり協議会へ総額5,939,548円を助成した。

## 11 ボランティア助成事業

### (1) ボランティア活動団体へ助成

ボランティア活動助成金として16団体へ総額208,000円を助成した。

- ①定期的な活動部門 15団体
- ②事業の開催部門 1団体

### (2) 市ボランティア連絡協議会へ助成

ボランティア活動助成金として300,000円を助成した。

## 12 各団体助成事業

### (1) 各種団体活動へ助成

南砺市遺族会	738,000円	
南砺市遺族会福光支部	140,000円	
井波招魂社奉賛会	151,000円	
南砺市老人クラブ連合会	186,000円	
砺波地区ろう友の会	30,000円	(総額1,245,000円)

## 13 高齢者交流サロン事業

【市受託事業】

### (1) 高齢者交流サロン事業の実施

#### ①ふれあいいきいきサロン「定期交流型」「運動中心型」への助成

地域の身近な場所で、参加者相互の交流により介護予防と健康増進を図り、いきいきとした日常生活を送ることを目的に実施している27団体へ総額5,770,302円を助成し、継続的な運営支援を行った。

	実施単位・団体数		実施回数	参加人数	平均参加人数
定期交流型	地区単位	16団体	933回	13,474人	14.4人
	集落単位	3団体			
運動中心型	地区単位	4団体	423回	4,302人	10.2人
	集落単位	4団体			

#### ②サロン機材の整備と貸出し

ふくし出前講座やサロン運営の相談等で貸出機材の紹介、周知を図った。

#### ③サロン研修会の実施

サロン活動の充実のため、年齢関係なく取り組み交流を図ることが出来るレクリエーションを学ぶ機会として実施した。

開催日	3月6日
会場	南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室
参加者	参加者133名（午前：81名、午後：52名）
内容	レクリエーション指導 講師：富山県レクリエーション協会 大橋氏、田島氏
成果	レクリエーションは、声かけを変えるなど少しの工夫をすることで、簡単な動きの繰り返しでも、楽しめることができると学ぶ機会となった。

## 14 高齢者生きがい対策事業

【市受託事業】

### (1) スポーツ教室等委託事業

高齢者がスポーツを通して健康でいきいきとした生活を送れることを目的とし、各地域でスポーツ教室等を開催する団体に業務委託を行った。

地域	事業名	主な内容	参加者(延べ)
井波	マレットゴルフ	定例練習会・講習会・交流大会の開催	340人
	カラオケ教室	練習会の開催	133人
井口	ペタンク	練習会の開催	450人
福野	ゲートボール	教室・講習会の開催、協議会への参加	2,220人
福光	ゲートボール	練習会・講習会の開催、大会への参加	1,159人
	ペタンク	練習会・研修会の開催、大会への参加	835人
	パークゴルフ	練習会・講習会の開催、大会への参加	1,087人

## 15 高齢者相談対策事業

### (1) 生活支援コーディネーター活動事業 【市受託事業】

第2層生活支援コーディネーター5名を配置し、生活支援ニーズと既存の取り組みをつなぐ等のコーディネート業務を行った。

《地区福祉活動連絡会》

開催日	2月29日
会場	井波社会福祉センター
参加者	地域づくり協議会関係者、市関係課、なんと未来支援センター 計59名
内容	(1)地区の取り組み紹介 高瀬西地域づくり協議会(除雪)、西太美地域づくり協議会(サロン)、吉江地域づくり協議会(ケアネット、マップ、災害) (2)情報交換(グループワーク) 「生活支援のしくみづくり」 「避難支援のしくみづくり」 「身近な通いの場づくり」 「顔の見える集いの場づくり」
成果	生活支援と地域住民のつながりづくりについての成功事例の紹介と課題や悩みの共有・情報交換は、参加者同士の良い学びの機会となり、今後の地域での活動に生かされるものと期待できる。

### (2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業 【市受託事業】

高齢者に関する相談ケースについて包括システムを活用し、関係機関と情報共有を図った。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のために、自宅訪問による高齢者実態把握調査を実施した。

- ・相談件数 48件
- ・実態把握調査件数 11件

### (3) 【拡】ごみ出し支援モデル事業(2年目/3年)

身体機能や認知機能の低下により自力でのごみ出しが困難な世帯を対象に、地域の協力員が有償で支援を行う地区へ助成金を交付した。

	R4年度	R5年度	地区名	支援世帯数	助成金額
交付地区数	4地区	4地区	大鋸屋地区	8世帯	123,600円
			菘谷地区	5世帯	78,100円
			北野地区	2世帯	39,750円
			広瀬地区	3世帯	69,000円

### (4) 兼務職員の人件費

## 16 ボランティアセンター運営事業

### (1) ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化

#### ① ボランティアセンター運営委員会

	第1回	第2回
開催日	6月5日	1月31日
会場	井波社会福祉センター	井波社会福祉センター
参加者	10名	13名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長の選出</li> <li>・令和5年度事業計画</li> <li>・ボランティア活動団体助成金審査</li> <li>・令和5年度ボランティア活動団体の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画（案）</li> <li>・災害時に各種団体ができることについて検討し意見交換</li> </ul>
成果	委員より貴重な意見を聞くことができ、また各団体での取り組みなどの情報を共有することができた。	

#### ② ボランティア相談支援業務

- ・ボランティア団体など活動者への相談受付、対応 延べ610件
- ・新規ボランティア希望者やボランティア募集希望の受付、対応 31件

#### ③ ボランティア登録業務

ボランティアコーディネート業務を円滑に行うため、ボランティア登録受付事務を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
団体登録数（団体）	163	154	111	102
団体登録人数（人） ※延べ数	4,396	4,028	3,741	3,501
個人登録人数（人）	14	9	6	46
登録人数合計（人）	4,410	4,037	3,747	3,547

#### ④ ボランティア活動保険加入普及業務

加入者数 2,436名

#### ⑤ ボランティア情報発信業務

広報紙「なんとの福祉」やホームページ、SNS（ブログ・インスタグラム）を活用し、情報を発信

### (2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

#### ① 【新】福祉教育プログラムのモデル実施

ふくしについて当事者や支援者から直接話が聞ける機会を設け、複数回のプログラム形式で南砺つばき学舎の5～6年生を対象に実施した。

第1回 12月21日	ふくしについて、車いす生活について 講師 大森 永遠 氏、市社協職員
第2回 1月18日	高齢者の生活について、高齢者疑似体験 講師 特別養護老人ホーム福寿園（ふくし出前講座）、市社協職員
第3回 2月27日	ボッチャ交流会 講師 大森 永遠 氏、市社協職員
成果	複数メニューからの選択制としたことで企画の難しさが軽減された。また、交流事業を重視したことから、障がいに対する児童の学びも深まった。

#### ② 「福祉教育・ボランティア学習会」の開催（砺波市・小矢部市・南砺市合同）

開催日	6月29日
場所	井波社会福祉センター
対象	3市内の学校教職員
参加	南砺市18名

内 容	学校での学びに社協や地域住民、当事者等が関わることにより、子どもたちの気づきがどのように深まるのか、実践発表を実施した。 実践発表者 小矢部市立津沢中学校 教諭 泉 千英 氏 砺波市社会福祉協議会 主事 濱島 小春 氏 南砺市民（社会福祉士） 大森 永遠 氏 南砺市社会福祉協議会 主事 水口 良幸
成 果	当事者の思いや具体的な実践が今後の参考になったとの意見があった。 社協の役割やコーディネート機能について周知し、協同の一助とした。

③学校等での福祉の授業やゲストティーチャー派遣

小学校 2校

高等学校 1校

(3) 【拡】災害ボランティアセンターの基盤整備

①災害ボランティアセンター運営訓練の実施

開催日	10月19日	3月7日
場 所	井波社会福祉センター	井波社会福祉センター
対 象	・災害時連携協定団体（砺波ライオンズクラブ、となみ青年会議所、南砺市） ・ボランティアセンター運営委員 ・地域づくり協議会（3地区） ・災ボラセンター駆け付け隊 ・社会福祉協議会 職員	・となみ青年会議所 ・社会福祉協議会 職員
参 加	52名	49名
内 容	運営マニュアルに基づき、社協、関係機関・団体、ボランティアや市民が協力しながら円滑に運営が進められるよう訓練し、各団体等との連携強化を進めることを目的として開催した。	
講 師	合同会社HUGKUMI 代表社員 長井 一浩 氏	南砺市社会福祉協議会 職員
成 果	初めて災害時連携協定団体と一緒に災害ボランティアセンター運営の運営訓練を行い、運営方法や改善点など共有することが出来た。	

②災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練から見えてきた課題や改善点について検討し、マニュアルの見直しを行った。

(4) ボランティア養成事業

聞き上手さん講座

開催日	9月7日
場 所	地域包括ケアセンター
対 象	災害ボランティアや傾聴活動に関心のある南砺市民
参 加	68名
内 容	被災された方に対し、心に寄り添ったコミュニケーション方法や困りごと、ニーズを聞き取るスキルを身に付け、災害時にボランティアとして活躍してもらえる人材の養成を目的に開催。 講義 「聞き上手さん講座～相手が話したくなる聴き方のコツ～」 講師 金沢工業大学 准教授 山上 史野 氏
成 果	有事に協力してもらった「災ボラセンター駆け付け隊」に3名の新規登録があったほか、参加者の日頃の活動にも活かせるような学びの場になった。



(5) ボランティア受入れ施設との連携強化

開催日	12月14日
会場	砺波四季彩館
対象	3市内の福祉施設、病院（市内64施設）
参加者	18名（砺波7名、小矢部5名、南砺6名）
内容	ボランティア活動について基礎を理解するとともに、施設がボランティアを受け入れることの意義について考え、双方がより良い関係を築くことを目的に開催。 講義 「社会福祉施設におけるボランティアコーディネーションについて」 講師 富山県ボランティアセンター 係長 後平 智孝 氏
成果	他施設の現状や対応策を知ること、各施設での実践のヒントを得ることができた。

## 17 ボランティアコーディネーター設置事業

(1) ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターとして職員4名の人件費

## 18 児童生徒のボランティア活動普及推進事業

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び総合支援学校の19校を推進校とし、体験学習等の事業費を助成した。

## 19 共同募金一般募金配分事業

(1) 広報紙の発行

広報紙「なんとの福祉」第200号（4月25日発行）～205号（2月25日発行）の発行。  
地域の取り組みや市社協事業の紹介、ボランティア情報の提供を行った。

(2) だれでもサロン支援事業の実施

年齢や障がいの有無等に関わらず、地域の身近な場所でだれでもが気軽に集える居場所づくりを目的に実施している127団体へ総額2,874,000円を助成し、継続的な運営支援を行った。

	実施単位・団体数	実施回数	参加人数	平均参加人数
だれでも型	地区単位	1,637回	20,202人	12人
	集落単位			

(3) 外国人支援事業 welcomeカフェ

市内在住の外国人が、気軽に相談したり会話を楽しむ居場所づくりを目的に、月1回実施。今年度は参加者同士誘い合って、国籍や年齢に関わらずだれでも参加できる居場所として定着し始めた。また、職員が相談を伺い関係機関の紹介や情報提供を行った。

開催場所	サテライト ボランティアルーム
開催日	偶数月第2土曜日（13：30～16：00）
参加者	延べ20名

(4) 憩いのステーション縁の木

外出の機会が少ない方や地域との関係が希薄な方の日中の居場所として開催。参加者のペースで過ごせる居場所を提供し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、職員が常駐し悩みを相談できる場所として開放した。

開催場所	サテライト ボランティアルーム
開催日	・第2・4水曜日（10：30～14：30）
計35日	・カフェ縁の木 奇数月第2土曜日（13：30～16：00） 偶数月第4水曜日（16：00～18：30）
参加者	延べ158名

- (5) 各種事業へ繰出し  
 8 障害者社会参加促進事業へ繰出し（ドリンクサービス事業）

## 20 生活困窮者自立支援事業

### (1) 生活困窮者自立支援、家計改善支援事業 【市受託事業】

#### ①生活困窮に関する相談対応、関係機関との連携支援

- ・相談対応件数（延べ） 61件

#### ②家計改善支援事業（市受託事業）

家計改善を必要としている要支援者に対し、家計再生に向けた課題の評価、分析、状況に応じた支援計画を作成し、自立を支援した。

- ・家計に関する相談件数 5件
- ・プランの作成 2件

### (2) 生活困窮者支援給付事業

生活に困窮している世帯を対象に、安定した生活を送れるよう状況に応じて必要な金品を給付し、相談支援を行った。また、関係機関と連携を図り、継続的な自立支援につなげた。

- ・給付に関する相談件数（延べ） 39件
- ・給付件数（延べ） 15件
- ・給付人数 7人

### (3) 職員1名（相談支援員として市へ派遣）

## 21 日常生活自立支援事業

【県社協受託事業】

### (1) 日常生活自立支援事業

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員や専門員が定期的に訪問し日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行った。

#### ①利用契約件数

	R3年度末	R4年度末	R5年度末	新規	解約			
					本人希望	後見人等	死去	転出
認知症高齢者等	19件	16件	15件	1件	1件	1件		
知的障がい者	22件	23件	26件	3件				
精神障がい者	13件	11件	11件	1件		1件		
その他	5件	5件	6件	1件				
合計	59件	55件	58件	6件	1件	2件	0件	0件

#### ②生活支援員登録・活動状況

	R3年度末	R4年度末	R5年度末
登録数	54名	56名	56名
活動者数	42名	41名	41名

#### ③支援回数

	R3年度	R4年度	R5年度
支援回数（延べ）	1,407回	1,030回	942回

#### ④相談支援業務

新規利用相談	9件
利用者の各種利用手続き支援（延べ）	101件
ケース会議の開催（参加含む）	40件
日常生活自立支援事業に関する問合せ	6件
成年後見制度のに関する問合せ	0件

#### (2) 職員の事例検討会の開催

職員の担当ケースについて、情報共有や事業間連携を図るために開催。困難ケースに関しては事例検討を行い、よりよい支援方法を検討するとともに職員の資質向上を図った。

#### (3) 南砺市生活支援員登録者研修会の開催

市内の生活支援員登録者を対象に、利用者理解及び対人援助技術の向上、生活支援員相互の情報交換・交流を図ることを目的として開催。

開催日	9月22日
会 場	井波社会福祉センター
参加者	生活支援員 22名
内 容	講師 社会福祉法人福寿会 いなみ居宅介護支援事業所 金井 幸太朗氏 社会福祉法人手をつなぐとなみ野 南砺事業所 戸田 裕子氏 社会福祉法人マーシ園 相談支援センターあい 木本 有里子氏 1) 講義「利用者の特性について」 (認知症・知的障害・精神障害について) 2) グループワーク（情報交換） 担当利用者の様子や対応に困ったこと等を話し合った
成 果	利用者のそれぞれの特性について正しく知る事が出来た。また、生活支援員の活動中の困りごとを共有し相談できる機会となった。

#### (4) 職員3名（専門員）の人件費

## 2 2 生活福祉資金貸付事務事業

【県社協受託事業】

#### (1) 県社協生活福祉資金の貸付事務

生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行った。

##### ①資金貸付相談

生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者支援給付事業等と連携し対応した。また、生活費以外の相談については、他制度へつなげた。

・相談件数（延べ） 88件

##### ②生活福祉資金貸付事業

・貸付中件数（R6.3月末）

資金名		R4年度末	R5年度末
総合支援資金	生活支援費	3件	3件
	住宅入居費	2件	2件
	一時生活再建費	2件	2件
福祉資金		0件	0件
教育支援資金		11件	12件
緊急小口資金		8件	8件
離職者支援資金		1件	1件
合 計		27件	28件

※能登半島地震特例 1件含む

③償還指導・督促状況

- ・借受人および連帯借受人、連帯保証人への督促・残額通知の送付（3か月毎） 延べ80件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡・面談 延べ 4件

(2) 【新】緊急小口資金等の特例貸付の償還事務

- ・貸付中件数（コロナ特例貸付 R6.3月末）

資金名	R4年度末	R5年度末
緊急小口資金	137件	91件
総合支援資金（延長、再貸付含む）	62件	43件
合計	199件	134件

- ・兼務職員の人件費

## 2 3 小口資金貸付事業

(1) 市生活支援資金貸付事業償還事務

①生活支援資金の償還状況

- ・利用契約件数 2件
- ・償還残高 136,000円（100,000円1件、36,000円1件）

②償還指導・督促状況

- ・6か月以上償還のない借受人に対する督促状の送付 1件
- ・借受人、連帯保証人に対する状況確認書・償還計画変更届の送付 1件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡や訪問等 1件

### 3 福祉センター等運営部門

#### 24 福野老人福祉センター運営事業

##### (1) 福野老人福祉センター「さつき荘」の運営

入浴施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営

①開館日数 245日(内、入浴可能日 196日) 利用者数 3,461人

※10月より入浴日を火・木・土に変更(入浴日 週5日⇒週3日)

※能登半島地震の影響のため1月5～6日臨時休館(周辺施設との関連で水回りの異常)

##### ②利用状況

(単位：人、円)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
開館日数(日)		331	296	226	242	245	
利用	60歳以上・障害者	人数	5,020	2,746	2,783	3,195	2,900
		金額	1,506,000	823,800	834,900	958,500	870,000
	お出かけ支援券(寿入浴券)	人数	289	336	394	212	172
		金額	86,700	100,800	118,200	63,600	51,600
	60歳未満	人数	46	6	3	0	94
		金額	18,400	2,400	1,200	0	30,300
	減免	人数	157	92	60	64	295
		金額	23,800	11,550	6,300	9,600	14,550
	カラオケ	金額	73,600	30,900	37,600	66,700	72,700
	小計	人数	5,512	3,180	3,240	3,471	3,461
金額		1,708,500	969,450	998,200	1,098,400	1,039,150	
自販機手数料等	金額	38,877	24,212	19,756	27,577	26,050	
総合計	金額	1,747,377	993,662	1,017,956	1,125,977	1,065,200	
1日平均利用者数(人)		16.7	10.7	14.3	14.3	14.1	

##### (2) 利用促進のための取組み

- ・自主事業として「カラオケの日」「体操の日」「囲碁の日」「脳トレの日」を継続した。
- ・南砺市高齢者お出かけ支援券事業に参画した。
- ・感染症拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

##### (3) 主な修繕(10万円以上)

- ・女子トイレの汚物排泄配管と自動センサー取替修繕 122,100円
- ・シャワーカラン取替 180,180円

##### (4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

##### (5) 更新及び取得した主な設備・備品(10万円未満)

- ・インクジェット複合機 69,520円

##### (6) 職員2名の人件費

施設長1名、施設管理員1名

## 25 福光老人福祉センター運営事業

### (1) 福光老人福祉センター「福光温泉」の運営

温泉施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営

- ①開館日数 274日 利用者数 16,837人  
(臨時休館中の1日間、30人の団体休憩のみの利用を含む)

※10月より利用料金を変更(大人 500円 ⇒ 600円、小人 200円 ⇒ 300円)

※能登半島地震の影響によるボイラー故障の為、1月4日～1月31日休館

※2月11日(日)の建国記念日は「お客様感謝デイ」として特別営業

### ②利用状況

(単位:円、人)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
開館日数(日)		310	205	285	295	274	
利用	一般入浴	人数	10,810	5,162	6,499	7,274	6,629
		金額	5,181,550	2,523,100	3,199,100	3,562,500	3,566,600
	お出かけ支援券 (寿入浴券)	人数	3,308	2,647	3,289	1,863	1,368
		金額	1,654,000	1,323,500	1,644,500	931,500	746,300
	回数券	人数	10,405	5,224	7,425	7,914	8,840
		金額	4,385,000	2,150,000	3,137,500	3,385,000	4,284,500
	休憩料	人数	640	172	159	396	235
		金額	197,000	54,075	57,600	139,650	81,200
	小計	人数	24,523	13,033	17,213	17,051	16,837
		金額	11,417,550	6,050,675	8,038,700	8,018,650	8,678,600
フロント販売、自販機		850,180	526,435	609,490	745,510	808,680	
食堂、展示場賃貸料他		162,806	300,155	308,848	279,726	278,987	
販売等 計		1,012,986	826,590	918,338	1,025,236	1,087,667	
負担金収入		96,741	62,326	95,156	81,029	149,213	
総合計		12,527,277	6,939,591	9,052,194	9,124,915	9,915,480	
1日平均利用者数(人)		79.1	63.6	60.4	57.8	61.7	

### (2) 利用促進のための取組み

- ・ひと月に1～2回、ひのき湯、菖蒲湯やハーブ湯などの季節湯を実施した。
- ・お得な回数券の販売を実施した。(5枚券購入で1枚追加)
- ・1階に個室を設置した。(少人数の利用者用)
- ・南砺市高齢者お出かけ支援券事業に参画した。
- ・感染症拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

### (3) 主な修繕(10万円以上)

- ・原水ポンプ(NO,1)取替工事 170,830円
- ・原水ポンプ(NO,2)取替工事 170,830円
- ・女子浴室洗い場前照明漏電修繕(3台) 220,000円
- ・旧浴場屋根防水シート(仮設)張り修繕工事 919,600円
- ・男子浴室シャワー水栓3カ所取替修繕 275,000円
- ・男子・女子浴室洗い場前照明漏電修繕 2,387,000円
- ・男子女子脱衣室洗面所水栓取替 204,820円
- ・昇温給湯ボイラー循環器ポンプ・熱交換器取替修繕 1,859,000円
- ・サウナボイラー不凍液取替修繕 883,300円
- ・女子脱衣所換気扇取替 133,540円
- ・合併浄化槽ばっ気ブローアNO,2取替・制御線張替工事 1,232,000円

(4) 固定資産取得支出 (10万円以上)

なし

(5) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)  
・紙パック式掃除機

34,400円

(6) 職員3名の人件費

施設長1名、施設管理員2名

## 26 井波社会福祉センター運営事業

(1) 井波社会福祉センターの運営

各種団体の集会場・趣味の場として管理運営

①開館日数 316日 利用者数 10,160人

※利用申請のない日について、平日は17時15分で閉館とし、土日、祝祭日は休館とした。

※土日の開館時間は、利用申請のある時間帯のみとした。

※令和4年7月1日から相談室、ボランティア室は社協職員事務所となっている。

②利用実績

(単位：件、人、円)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数 (日)		325	261	278	314	316
1F 談話室	件数	150	70	84	93	113
	人数	997	500	491	514	642
	金額	65,880	49,760	52,720	44,960	56,340
1F 相談室	件数	47	29	29	2	0
	人数	359	134	117	11	0
	金額	38,300	14,960	10,960	0	0
1F 娯楽室	件数	248	194	224	247	263
	人数	2,549	1,627	1,860	2,117	2,103
	金額	301,325	214,025	254,385	272,530	274,630
2F 研修室	件数	135	124	108	102	109
	人数	4,074	2,356	2,046	2,050	2,115
	金額	245,450	197,950	167,545	164,875	188,490
2F 児童文化室	件数	263	182	199	226	189
	人数	3,326	1,720	1,812	2,255	1,899
	金額	354,340	241,090	272,160	281,990	259,395
2F ボランティア室	件数	86	66	76	13	0
	人数	582	441	488	88	0
	金額	0	700	0	0	0
3F 会議室	件数	96	31	56	124	149
	人数	615	187	350	762	1,009
	金額	67,350	18,775	41,775	63,275	69,765
3F 大ホール	件数	130	52	83	117	125
	人数	3,538	1,027	1,816	2,303	2,392
	金額	227,175	97,515	161,375	224,240	271,935
総合計	件数	1,155	748	859	924	948
	人数	16,040	7,992	8,980	10,100	10,160
	金額	1,299,820	834,775	960,920	1,051,870	1,120,555
1日平均利用者数 (人)		49.4	30.6	32.3	32.2	32.2

(2) 利用促進のための取組み

- ・ 1階ロビーにWi-Fiアクセスポイントを設置し、若年層の利用を獲得した。
- ・ 自主事業「若年層の居場所づくり」として看板ペイント等のイベントを5回実施した。
- ・ 企業団体等の利用促進に努め、収入実績を微増させた。
- ・ 消防計画に基づき、自衛消防訓練として消防用設備設置状況確認を行った。(施設職員全員)
- ・ 感染症拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

(3) 主な修繕 (10万円以上)

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| ・ 1階ロビーWi-Fiアクセスポイント設置       | 169,400円   |
| ・ 1階事務所ロールスクリーン設置            | 155,815円   |
| ・ 非常階段滑止塗装・渡り廊下手摺塗装、モルタル剥離修繕 | 1,001,000円 |

(4) 固定資産取得支出 (10万円以上)

なし

(5) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

- |             |         |
|-------------|---------|
| ・ 1階事務所用掃除機 | 42,460円 |
|-------------|---------|

(6) 職員3名の人件費

施設長1名、施設管理員1名、館内清掃員1名



## 27 井口社会福祉センター運営事業

### (1) 井口社会福祉センターの運営

各種団体の集会場・趣味の場として管理運営

※管理は井口地域づくり協議会に委託

①開館日数 274日 利用者数 7,566人

※利用申請のない日は17時30分で閉館。

※基本的に平日のみ開館。予約により土日祝日の対応をしている。

### ②利用状況

(単位：人、円)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数(日)		258	215	243	264	274
1F 集会室	人数	1,141	282	211	301	624
	金額	37,050	13,740	12,990	16,470	34,740
1F 談話室	人数	1,610	541	777	803	1,328
	金額	90,800	49,440	75,620	67,720	82,540
1F 面接休養室	人数	242	227	574	497	676
	金額	13,400	7,240	26,740	26,900	28,500
1F サロン室	人数	1,037	684	1,140	1,234	1,554
	金額	67,590	70,590	133,410	112,950	132,210
1F ボランティア室	人数	669	429	562	871	1,036
	金額	24,630	25,590	46,800	69,780	69,810
1F 調理室	人数	210	4	0	14	100
	金額	10,950	960	0	720	2,850
2F 大ホール	人数	4,627	4,028	4,668	4,919	1,515
	金額	40,440	291,560	335,820	332,960	109,320
2F 小ホール	人数	708	3,024	3,714	3,749	180
	金額	10,350	166,950	187,320	181,080	2,880
2F ワークルーム室	人数	12	0	156	229	0
	金額	1,300	0	6,400	6,960	0
2F 会議室	人数	568	275	369	574	553
	金額	71,840	50,500	55,640	57,040	49,720
2F 児童室	人数	3,795	2,884	3,556	3,523	0
	金額	800	126,480	126,800	123,200	0
総合計	人数	14,619	12,378	15,727	16,714	7,566
	金額	369,150	803,050	1,007,540	995,780	512,570
1日平均利用者数(人)		56.7	57.6	64.7	63.3	27.6

### (2) 利用促進のための取組み

- ・井口地域づくり協議会主催による脳活「にこにこアート」を月に2～3回実施した。  
また、「やさしいヨガ」として、年間通してヨガ教室を開催した。
- ・井口の空き家を考える会主催による井口地域移住者交流会を2回開催した。

### (3) 主な修繕(10万円以上)

- ・1階男子トイレ漏水修繕 456,500円

### (4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

### (5) 更新及び取得した主な設備・備品(10万円未満)

- ・消火器4本更新 30,800円

## 28 すぱーく福野運営事業

### (1) 屋内ゲートボール場「すぱーく福野」の運営

高齢者の生きがいづくりと健康増進の場として管理運営

※管理は福野ゲートボール協会に委託

①開館日数 359日 利用者数 4,707人

※利用申請のない日は17時30分で閉館。

### ②利用状況

(単位：人、円)

区分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
開館日数(日)		360	313	331	359	359	
利用	100円	人数	5,006	4,792	4,654	4,445	4,707
		金額	500,600	479,200	465,400	444,500	470,700
	150円 (18:00~)	人数	0	0	0	0	0
		金額	0	0	0	0	0
	コート利用	件数	18	3	19	23	46
		金額	18,000	3,000	19,000	39,000	77,000
	小計	人数	5,006	4,792	4,654	4,445	4,707
		金額	588,600	548,200	550,400	483,500	547,700
自販機手数料		2,635	19,283	18,656	19,735	21,717	
雑収入等						58,300	
総合計		591,235	567,483	569,056	503,235	627,717	
1日平均利用者数(人)		13.9	15.3	14.1	12.4	13.1	

### (2) 利用促進のための取組み

- ・ゲートボール協会を通じ、市外のゲートボール団体の利用PRを図った。
- ・障害者のコート利用料の減免を行った。

### (3) 主な修繕(10万円以上)

なし

### (4) 固定資産取得支出(10万円以上)

なし

### (5) 更新及び取得した主な設備、備品(10万円未満)

なし

## 4 介護保険等サービス部門

### 29 ホームヘルプ事業

【市指定管理】

#### (1) 五箇山ホームヘルプステーションの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市五箇山ホームヘルプステーション（平出張所含む）  
 事業所種類 訪問介護事業  
 介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業  
 指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（7/7年目）

①開所日数 243 日

#### ②利用状況

（単位：人、円）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数（日）	256	269	269	243	243
延利用人数	2,214	1,940	1,797	1,339	1,318
延利用平均人数/日	8.6	7.2	6.7	5.5	5.4
平均実利用者数/月	25	21	19	20	21
平均介護度	1.5	1.6	1.6	1.9	1.6
介護事業収入	8,528,710	7,621,510	8,198,050	6,033,523	5,711,680

(2) 主な修繕（10万円以上） なし

(3) 固定資産取得支出（10万円以上） なし

(4) 更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）  
 ・インクジェット複合機 69,520円

(5) 職員2名の人件費

### 30 デイサービスセンター運営事業

【市指定管理】

#### (1) 平、上平、利賀デイサービスセンターの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市平デイサービスセンター  
 南砺市上平デイサービスセンター  
 南砺市利賀デイサービスセンター  
 事業所種類 地域密着型通所介護事業  
 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業  
 基準該当障害福祉サービス事業  
 指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（7/7年目）

①開所日数 平デイ 243 日  
 上平デイ 243 日  
 利賀デイ 243 日

②利用状況

平デイ

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数	243	242	242	238	243
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	3,107	2,828	2,020	1,938	2,201
利用平均人数/日	12.8	11.7	8.3	8.1	9.1
平均実利用者数/月	30	29	23	22	23
平均介護度	1.7	1.9	2.0	2.0	1.8
介護事業収入	27,230,892	26,152,984	18,941,030	18,180,903	20,275,832

上平デイ

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数	243	221	242	243	243
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	2,209	1,905	2,269	2,381	2,423
利用平均人数/日	9.1	8.6	9.4	9.8	10.0
平均実利用者数/月	20	23	28	27	27
平均介護度	1.8	1.9	1.9	1.5	1.5
介護事業収入 (障害福祉サービス事業収入含む)	19,428,165	18,259,720	20,553,018	21,023,190	21,119,104

利賀デイ

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
開所日数	243	243	242	243	243
定員	10	10	10	10	10
延利用人数	2,168	1,855	1,537	1,600	1,558
利用平均人数/日	8.9	7.6	6.4	6.6	6.4
平均実利用者数/月	23	20	18	18	16
平均介護度	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4
介護事業収入	19,302,425	17,531,640	13,365,160	14,098,117	13,791,313

③運営推進会議の開催

概要	利用者家族、地域住民の代表者等に提供しているサービス内容を明らかにすることにより、サービスの質の確保を図ること等を目的として義務付けられ、各地域密着型デイサービス事業所が開催するもの。(年2回)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況の報告(利用者数、利用者の平均要介護度等)</li> <li>・活動状況の報告(行事開催状況、地域との交流状況、ボランティア受入等)</li> <li>・施設運営管理状況の報告(修繕状況、ヒヤリハットの報告等)</li> <li>・意見交換</li> </ul>		
	平デイ	上平デイ	利賀デイ
開催日	① 10月11日 ② 3月18日	① 10月5日 ② 3月19日	① 9月25日 ② 3月19日
参加者	① 9名 ② 5名	① 7名 ② 8名	① 6名 ② 4名

- (2) 主な修繕 (10万円以上)
- ・平デイ 送迎車両ブレーキ関係修繕 147,576円
  - 送迎車両車検修繕 394,263円
  - 送迎車両車検修繕 151,987円
  - 機械室内有圧扇取替修繕 223,300円
  - ・上平デイ ろ過循環ポンプ修繕工事 181,500円
  - ボイラー基盤・水面器取替修繕 298,650円
  - ボイラー給湯昇温用圧力SW修繕 112,200円
  - ・利賀デイ 空調ダクト修繕工事 181,500円
- (3) 固定資産取得支出 (10万円以上)
- ・平デイ ロボット掃除機 139,800円
  - ・利賀デイ 車いす体重計 181,500円
- (4) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)
- ・平デイ コードレス掃除機 28,000円
  - インクジェット複合機 69,520円
  - ・上平デイ ホール壁掛けテレビ 97,000円
  - インクジェット複合機 69,520円
  - ・利賀デイ 自走用車いす 39,100円
  - インクジェット複合機 69,520円
- (5) 職員18名の人件費  
 管理者3名、生活相談員3名、看護師2名、介護士・員6名、調理員3名、介護事務1名

### 3 1 生活支援ハウス運営事業

【市指定管理】

(1) 生活支援ハウスの運営

市指定管理施設として管理運営

事業所名 南砺市平生活支援ハウス

指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日 (7/7年目)

①利用状況

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
定員	12	12	12	12	12
平均実利用者数/月	6	5	5	4	2
利用料収入	1,027,639	694,659	737,176	515,891	238,855

※入居の申請及び判定は南砺市において行う。

- (2) 主な修繕 (10万円以上) なし
- (3) 固定資産取得支出 (10万円以上) なし
- (4) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満) なし
- (5) 職員の人件費  
 兼務職員1名、宿日直1名